

ユミックス 株式会社

海外の大手自動車に採用、最先端技術で世界に挑む

海外発注可
オンライン技術
メイドインジャパン



手がけるのは誰もが知る大手自動車メーカーの外板

業務内容

世界中の自動車の製造に採用される「プレス金型」

自動車部品のプレス金型を、設計から製造・販売まで一括で受注する。この金型によって、自動車のフェンダー、サイドパネル、ピラー、フンド、ドアなど複雑な形状の外板・内板部品を作ることが可能となる。金型の内部には、自社製品で世界特許でもある「ロータリーカム」、「JCMスライドカム」と呼ばれる独自のカム機構を搭載。さらに、スタビライザー、ダツカム、パンチャーなど他の自社製品も標準化し、多くの金型に使用してきた。これらの技術によってプレス工程を短縮、プレス機の長寿命化・金型のコンパクト化などを実現し、業界から高い評価を得ている。

強み

海外の大手メーカーとの直接取引で適正価格を維持

トヨタ自動車（株）との取引はもちろんのこと、世界の大手メーカーと直接取引をしていることが大きな強み。その相手は、ゼネラルモーターズ、フォード・モーター、フィアット・クライスラー、メルセデス・ベンツ、BMW、アウディ、フォルクスワーゲンなど、いずれも最大手ばかり。独自のカム機構の性能が認められ、早い時期から海外に進出したことで、このような取引関係を築くことができた。

自動車業界では、金型に対する価格低減への強い要求が長年続き、多くの金型メーカーの経営は依然厳しい。そうした中、中間業者を介さないことで適正価格での販売体制の維持に注力している。

特許技術

独自の特許技術で複雑な形状のプレス加工を実現

世界特許である「ロータリーカム」の技術的な特徴は、「負角成形における回転カム機構」。ひとつのプレス金型の内部には、このようなカム機構が多数組み込まれる。各機構が精度良く稼働する事により、複雑な加工を可能にする。通常、自動車の内外板部品を作るには、「絞り」「抜き」「穴開け」「曲げ」など複数のプレス工程が必要になるが、この技術を組み合わせる事によって大幅な工程短縮を実現。

当技術の金型部品としての製造・販売も好評で、特許使用料を支払って自社製金型に導入するカーメーカーも多い。



独自のカム機構を備えた金型部品

今後の展望

人材の育成で生産キャパシティの拡大を

直近の課題は、生産キャパシティの拡大。大規模な設備導入が必要な業界であるため、生産スピードを向上させるのは容易ではない。まずは従業員を増やしたうえで土曜日・日曜日の工場稼働率を上げていく。また、アメリカ・ミシガン州の製造拠点は設備拡張の効果が大きいと見込む。そのため、現地に送り込む人材の育成が急務となっている。

近年、設計工程では3次元CADなどIT化の進展がめざましいが、現場で必要となるのはやはり人の感覚。「一人前になるのに10〜20年かかる業界。粘り強い人材が欲しい」と、天満幸治社長は語る。

COMPANY PROFILE

ユミックス株式会社

全国26

ISO 9001
ISO 14001

当社の歴史

創業以来、精密治具の製造などの技術開発に重点を置いてきました。昭和40年代に自動車業界に参入し、早くから東南アジア、ヨーロッパ、アメリカへ輸出。「最高の技術創造を通じての社会奉仕」という方針を掲げ、自社開発製品「ロータリーカム」の特許などを世界各国から取得しています。

高い生産性を備えたプレス金型は、日本・世界の自動車メーカーに数多く採用され、豊富な実績を築いています。

代表取締役社長 天満 幸治さん



■主な事業内容
自動車用プレス金型の設計・製造・販売

■主な取引先（納入先）
自動車メーカー

住所 / 〒573-0137
枚方市春日北町
2-37-1
TEL / 072-897-3335
FAX / 072-896-1131
創業 / 昭和20年10月
設立 / 昭和28年6月
資本金 / 7,000万円
従業員 / 110名

<http://www.umix.co.jp/>